



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日
東

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所
コード番号 4118 URL <https://www.kaneka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 稔
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員IR・広報 (氏名) 石田 修 (TEL) 03-5574-8090
(Investors & Public Relations)部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	564,728	△0.4	21,611	△21.8	19,351	△27.3	13,438	△28.9
2023年3月期第3四半期	567,143	11.5	27,621	△17.1	26,601	△15.0	18,890	△14.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 28,437百万円(2.3%) 2023年3月期第3四半期 27,794百万円(1.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 207.04	円 銭 206.45
2023年3月期第3四半期	286.61	285.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 850,620	百万円 455,509	% 51.2
2023年3月期	782,640	436,422	53.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 435,175百万円 2023年3月期 417,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 110.00
2024年3月期	—	55.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	766,000	1.3	32,000	△8.8	28,700	△11.5	23,000	△0.0	354.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	68,000,000株	2023年3月期	68,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,086,253株	2023年3月期	3,106,293株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	64,908,638株	2023年3月期3Q	65,909,803株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

- ・当社は、2024年2月8日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

➤ **世界経済の状況** —景気先行きの不透明感が高まる—

当第3四半期累計期間（2023年4月～12月、以下3Q累計）は、世界の分断が深刻化し、ウクライナ問題の長期化、中東情勢の悪化などの地政学リスクによる影響が続きました。また、欧米の金融引き締めや中国経済のシュリンクが、グローバル経済の回復の足かせとなっています。

世界各国のインフレは徐々に緩和され、欧米の金融政策が転換期を迎えつつあるなかで、未だ多くの製造業では需給調整が続いており、景気の先行きは不透明な状況となっています。

➤ **当社グループの業績** —減収減益—

このような状況下、当社グループの3Q累計の業績は、売上高564,728百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益21,611百万円（前年同期比21.8%減）、経常利益19,351百万円（前年同期比27.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益13,438百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

厳しい需要環境が続く中、当第3四半期（2023年10月～12月、以下3Q）は第2四半期（2023年7月～9月、以下2Q）の収益水準を上回り、回復が進んでいます。E&I、Fiberの海外需要が想定以上に遅れ、Health Careでは一時的な需要調整が続きました。Nutrition領域では更に収益が拡大しました。ポートフォリオ変革は着実に進んでいます。

2024年3月期 第3四半期 連結業績 (単位：百万円)

	2023年3月期 3Q累計	2024年3月期 3Q累計	増減
売上高	567,143	564,728	△2,415 (△0.4%)
営業利益	27,621	21,611	△6,010 (△21.8%)
経常利益	26,601	19,351	△7,249 (△27.3%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18,890	13,438	△5,451 (△28.9%)

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	売上高				前年同期比
	2024年3月期				
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	
Material SU	77,659	78,814	81,444	237,919	△12,788 (△5.1%)
Quality of Life SU	40,878	43,880	46,638	131,397	388 (0.3%)
Health Care SU	17,745	18,448	17,209	53,403	751 (1.4%)
Nutrition SU	46,037	46,006	49,038	141,082	9,094 (6.9%)
その他	419	226	280	925	137 (17.5%)
計	182,740	187,376	194,611	564,728	△2,415 (△0.4%)

セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	営業利益				前年同期比
	2024年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	3 Q累計	
Material SU	5,513	6,610	6,996	19,119	△3,351 (△14.9%)
Quality of Life SU	2,939	4,159	4,655	11,754	△1,301 (△10.0%)
Health Care SU	2,967	2,926	2,451	8,344	△3,636 (△30.4%)
Nutrition SU	2,277	2,298	3,820	8,395	4,002 (91.1%)
その他	288	101	151	541	146 (37.0%)
調整額	△8,381	△9,093	△9,070	△26,545	△1,869 (-)
計	5,603	7,002	9,004	21,611	△6,010 (△21.8%)

各セグメントの状況は次のとおりです。

① Material Solutions Unit

当ユニットは、欧米の需要停滞が長期化するなか、MOD・MSが回復しましたが、Vinylsの市況低迷により、減収減益となりました。

- Vinylsは、塩ビ・か性ソーダともに中国経済のシュリンクやアジア市況の下落により、低調に推移しました。市況回復にはやや時間を要する見通しですが、グローバルニッチ市場において特異技術を磨き、原料・市況の変動に強い体質を強化しています。
- MODは、欧米での高インフレ・高金利が継続し、建築用途の需給調整が長引くなか、3 Q以降、非塩ビ向けやアジア市場の需要が着実に回復しています。エポキシマスターバッチ (MX) は、EVの構造接着剤向けで採用案件が増加し、新規用途の開発が進んでいます。
- MSは、建築需要が停滞するなか、他にはない機能特性が評価され、販売が堅調に推移しました。スプレッド改善の取り組みも寄与し増収増益となりました。新地域・新規用途への拡販が進んでおり、ベルギーでの生産能力増強を計画通り進め、グローバルな需要増大に应运まいます。
- Green Planetは、日米欧の大手ブランドホルダーとの共同開発が順調に進んでいます。大型案件に向けた能力増強工事は計画通り進んでおり、加工技術を含めたサプライチェーンの構築に注力しています。

② Quality of Life Solutions Unit

当ユニットは、スマートフォン市場及びアフリカ頭髪市場の回復遅れにより、増収減益となりました。

- Foamのスチレン系発泡樹脂の需要は低調でしたが、価格改定などによりスプレッドが改善しました。発泡ポリオレフィン、自動車向け需要が国内外ともに回復し、EV用途での採用も拡大しています。全体としては増収増益となりました。
- PVは、戸建て住宅向け高効率太陽電池の販売が堅調に推移しています。また、車載用途や非戸建て住宅向けの開発にも注力し、今後の採用拡大を見通した生産基盤の強化を進めています。
- E&Iは、スマートフォン市場の需要は徐々に回復しているものの、ポリイミド製品の本格回復は4 Q以降と見ています。大型TV向けアクリル樹脂は、一時的な需要調整がありましたが、有機EL向けポリイミドワニスの需要が堅調に推移しました。
- Fiberは、アフリカ頭髪市場が1 Qに底を打ちましたが、需要回復が想定以上に遅れ、

低調に推移しました。軽量・撥水・抗菌など高機能新製品の市場評価は高く、アフリカの未開拓地域への販路拡大と併せて、拡販の取り組みに注力しています。

③ Health Care Solutions Unit

当ユニットは、Medicalは堅調な業績となりましたが、Pharmaは顧客の出荷調整が想定以上に長びき、増収減益となりました。

- Medicalは、血液浄化器・カテーテルともに国内外で堅調な販売となりました。業容拡大の大きなチャンスがある米国市場で、既に販売体制強化の手を打ちました。北海道の血液浄化器工場は、本年春の稼働に向けて計画通り進捗しています。導入予定の革新技術を着実に立上げ、高付加価値製品を投入し続けます。また、生分解性マグネシウムステント技術を持つ会社の買収や血栓回収用ステントの輸入販売など、Open Innovationによるカテーテル製品のラインアップ拡充を進めています。
- Pharmaは、コロナワクチン領域を含めた顧客の出荷調整が、想定以上に長びいています。カネカユーロジェンテックのバイオ事業は、プラスミド技術の高い評価をテコに多種多様なスケールある新規案件に注力しています。mRNAについては、グローバル需要の増大に応えられる生産体制を強化するとともに、引続き遺伝子疾患やがん治療薬用での採用を進めてまいります。低分子医薬品は、実績をベースとした国内外市場での大型案件の獲得を進めています。

④ Nutrition Solutions Unit

当ユニットは、Foods、Supplementともに好調を持続し、大幅な増収増益となりました。4Qも堅調な業績が見込まれます。

- Supplementは、還元型Q10が米国での販売が堅調に推移し、中国越境EC向けなど、アジア・オセアニアでの拡販が進みました。「BtoB」「BtoC」の戦略的な技術開発及び販促活動を強化し、市場創出を目指します。腸内環境を整え、未病を促進する乳酸菌事業も着実に拡販が進んでおり、最大市場の米国及び中国・アジア・ロシア・中南米地域への新規開拓や生産基盤の強化に注力しています。
- Foodsは、高付加価値品への販売シフト及びスプレッドの改善が大きく寄与しました。マーケティングや商品企画力の強化を継続し、事業基盤の強化に努めます。更に有機乳製品をはじめ、ヨーグルトなど付加価値の高い新規事業の拡大が進んでいます。カネカ食品における業務のDX化を加速させ、収益力を強化してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

- 資産、負債及び純資産の状況
3Q末の総資産は、棚卸資産の増加に加え、設備投資の拡大による固定資産増加、円安による海外グループ会社の資産額増加等により、前期末に対して67,980百万円増加の850,620百万円となりました。
負債については、借入金及び社債の増加等により48,894百万円増加の395,111百万円となりました。
純資産については、円安による為替換算調整勘定の増加や保有株式の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により19,086百万円増加の455,509百万円となり、自己資本比率は51.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

IMFは、2024年の世界GDP成長率が3.1%（23年10月比+0.2%）になるとの最新見通しを発表しました。インフレ率の想定以上の鈍化を背景に、米国・新興国の成長率は10月比プラスと見ているものの、欧州・日本はマイナスとなっており、世界全体

の景気動向は見通し難い状況が続いています。
中東地域で勃発した紛争も深刻さを増し、経済への影響の波及が懸念されます。

このように世界経済の不透明感が強まるなか、Health Care SUセグメントは、Pharmaで顧客の出荷時期の調整が続く可能性があります。Health Care SU全体としては、Pharma、Medicalともに顧客との取り組みが着実に広がり、新製品の採用が拡大する見通しです。

FoodsとSupplementを束ねるNutrition SUセグメントは、需要創造が順調に進み、好スプレッドと相まって、引続き業績に大きく貢献していくと見ています。

Material・QOL SUセグメントは、Vinylsで需給調整が続く見通しで、E&I・Fiberでは市場の回復スピードが想定より緩やかなペースとなっています。

1Qを底に2Q・3Qと期を追って続けている全体業績の回復は、4Qも着実に進む見込みです。

引続き技術革新を軸とした新製品開発と、コスト競争力強化に取り組んでまいります。

3Qまでの業績及び今後の事業環境の見通しを踏まえ、2023年11月9日公表の連結業績予想を修正いたします。

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	779,000	35,500	33,500	26,000	400.58
今回修正予想（B）	766,000	32,000	28,700	23,000	354.86
増減額（B－A）	△13,000	△3,500	△4,800	△3,000	
増減率（％）	△1.7	△9.9	△14.3	△11.5	
（参考）前期連結実績 （2023年3月期）	755,821	35,087	32,411	23,008	349.59

セグメント別業績予想

（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	前回予想	今回修正予想	増減	前回予想	今回修正予想	増減
Material SU	332,000	324,600	△7,400 (△2.2%)	25,700	25,900	200 (0.8%)
Quality of Life SU	180,000	177,500	△2,500 (△1.4%)	17,400	16,100	△1,300 (△7.5%)
Health Care SU	79,000	75,500	△3,500 (△4.4%)	16,000	13,500	△2,500 (△15.6%)
Nutrition SU	187,000	187,300	300 (0.2%)	12,000	12,000	-
その他	1,000	1,100	100 (10.0%)	600	600	-
調整額	-	-	-	△36,200	△36,100	100 (-)
計	779,000	766,000	△13,000 (△1.7%)	35,500	32,000	△3,500 (△9.9%)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,774	45,434
受取手形、売掛金及び契約資産	170,154	180,202
有価証券	94	-
商品及び製品	89,223	95,626
仕掛品	13,317	12,169
原材料及び貯蔵品	65,574	68,161
その他	18,327	25,835
貸倒引当金	△1,502	△1,802
流動資産合計	396,964	425,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	96,399	96,514
機械装置及び運搬具（純額）	107,829	106,569
その他（純額）	88,385	116,813
有形固定資産合計	292,615	319,897
無形固定資産		
のれん	2,201	4,631
その他	13,987	13,950
無形固定資産合計	16,189	18,581
投資その他の資産		
投資有価証券	57,422	66,607
その他	19,731	20,208
貸倒引当金	△283	△303
投資その他の資産合計	76,870	86,513
固定資産合計	385,675	424,992
資産合計	782,640	850,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,663	104,628
短期借入金	116,491	123,197
1年内償還予定の社債	-	5,000
未払法人税等	5,055	3,112
引当金	119	4
その他	47,912	58,505
流動負債合計	258,242	294,448
固定負債		
社債	10,000	15,000
長期借入金	33,706	37,961
引当金	2,375	2,062
退職給付に係る負債	20,829	20,112
その他	21,063	25,526
固定負債合計	87,974	100,663
負債合計	346,217	395,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	32,245	30,348
利益剰余金	323,213	329,496
自己株式	△11,407	△11,333
株主資本合計	377,098	381,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,204	29,231
繰延ヘッジ損益	△3	△1
為替換算調整勘定	11,543	18,128
退職給付に係る調整累計額	6,529	6,259
その他の包括利益累計額合計	40,273	53,617
新株予約権	622	648
非支配株主持分	18,427	19,684
純資産合計	436,422	455,509
負債純資産合計	782,640	850,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	567,143	564,728
売上原価	416,165	416,302
売上総利益	150,977	148,426
販売費及び一般管理費	123,355	126,814
営業利益	27,621	21,611
営業外収益		
受取配当金	1,607	1,694
為替差益	1,993	930
持分法による投資利益	123	136
その他	742	897
営業外収益合計	4,466	3,659
営業外費用		
支払利息	1,339	2,476
固定資産除却損	1,142	1,191
その他	3,004	2,250
営業外費用合計	5,487	5,918
経常利益	26,601	19,351
特別利益		
投資有価証券売却益	-	2,443
事業譲渡益	-	520
特別利益合計	-	2,964
税金等調整前四半期純利益	26,601	22,316
法人税、住民税及び事業税	6,223	6,335
法人税等調整額	761	1,373
法人税等合計	6,985	7,708
四半期純利益	19,616	14,607
非支配株主に帰属する四半期純利益	726	1,168
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,890	13,438

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	19,616	14,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	732	7,027
繰延ヘッジ損益	7	2
為替換算調整勘定	6,971	7,069
退職給付に係る調整額	465	△270
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	8,178	13,829
四半期包括利益	27,794	28,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,646	26,782
非支配株主に係る四半期包括利益	1,148	1,654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	250,707	131,008	52,651	131,988	566,355	787	567,143	—	567,143
セグメント間の 内部売上高又は振替高	246	25	—	40	312	844	1,156	△1,156	—
計	250,953	131,033	52,651	132,028	566,667	1,632	568,300	△1,156	567,143
セグメント利益	22,470	13,056	11,981	4,393	51,902	395	52,298	△24,676	27,621

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	51,902
「その他」の区分の利益	395
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△24,751
その他の調整額	73
四半期連結損益計算書の営業利益	27,621

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	237,919	131,397	53,403	141,082	563,802	925	564,728	—	564,728
セグメント間の 内部売上高又は振替高	176	30	—	30	237	855	1,093	△1,093	—
計	238,095	131,427	53,403	141,113	564,040	1,781	565,821	△1,093	564,728
セグメント利益	19,119	11,754	8,344	8,395	47,614	541	48,156	△26,545	21,611

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	47,614
「その他」の区分の利益	541
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△26,644
その他の調整額	97
四半期連結損益計算書の営業利益	21,611

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。